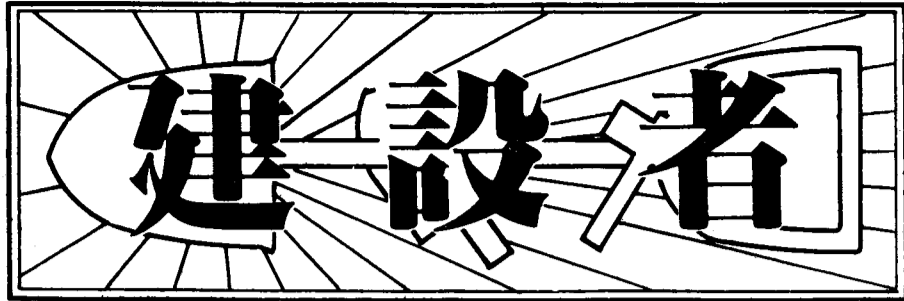


今月の葛飾組織現勢

2010年5月1日現在	5564人
加 入	95人
転 入	6人
脱 退	56人
転 出	3人
2010年6月1日現在	5606人



東京土建一般労働組合

葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
 電 話 (5698) 1 2 6 1
 F A X (5698) 1 2 6 2
 発行人 細 貝 文 洋

春の拡大月間 124人の新たな仲間を迎え入れる 5606人まで回復



打上式の最後にみんなでガンバロウ三唱して、終わりました。

奮闘お疲れさまでした 目標達成は9分会

4・5月にわたり行った春拡大月間。目標達成が9分会と青年部・主婦の会・建長会でした。支部目標は、残念ながら達成とはなりません。

この2ヶ月間で124人の新たな仲間を迎え入れ、6月1日付で5606人まで回復はしたものの、1月1日付の人員(5689人)には届きませんでした。

この拡大月間の打上式を6月2日(水)夜、シンフォニーホールで行いました。参加は、本部から徳森さん・岩崎さんを迎え、各分会・青年部・主婦の会・建長会からの参加で、全体で130人でした。

式では、拡大目標を達成した西新小岩・本田・お花茶屋・二葉・西亀有①・西亀有②・金町・北水元・幸田・青年部・主婦の会・建長会が壇上で記念撮影を行いました。

最後に深澤副委員長のあいさつで、年間実増に向けガンバロウと拳を上げ意思統一して終わりました。

祝達成 一歩前進の拡大のたたかい 幸田分会 相互訪問で9人拡大・実増4人



拡大目標を達成した幸田分会

【幸田分会・教宣部・伊藤兼夫】4・5月、幸田分会の

拡大目標は場合9人である。その前段の春一番拡大では、「あと少しで達成」のところまでこぎ付け、拡大の助走を開始。春の拡大も今までの以上の行動力を発揮し、見事拡大達成。実増4人の成果である。

2カ月にわたる拡大行動は、4月のお花見大会で組合員との交流を図り、「新しい仲間の紹介を」と、訴える事から始まり、一人ひとり丁寧な当たっていき、土建組合の優位性を説明。又、労災加入

や共済制度などの様々な利点を力説。対象者に合わせた資料を取り寄せて、納得のいくまで対話。組合員の相互訪問で拡大につながる糸口がみつかる。

幸田分会の仲間全員が一歩前進する、「拡大のたたかいを！」。

	春目標		春の拡大 成果表	
	1月1日付人員	6月1日付人員	拡大目標 3.5%	6月3日現在 (1月1日付比の増減)
新小岩	145	140	5	増減▼5
西新小岩	123	124	4	増減○1
東新小岩	376	365	13	増減▼11
奥戸	521	524	18	増減○3
本田	195	194	7	増減▼1
立石	179	170	6	増減▼9
青戸	237	236	8	増減▼1
お花茶屋	220	222	8	増減○2
堀切	317	313	11	増減▼4
二葉	255	250	9	増減▼5
西亀有①	184	177	6	増減▼7
西亀有②	107	108	4	増減○1
亀有	265	261	9	増減▼4
細田	222	223	8	増減○1
高砂	258	242	9	増減▼16
柴又	253	250	9	増減▼3
新宿	195	193	7	増減▼2
金町	175	177	6	増減○2
東金町	183	175	6	増減▼8
東水元	301	296	11	増減▼5
北水元	266	267	9	増減○1
幸田	255	259	9	増減○4
飯塚	198	185	7	増減▼13
その他	259	255	11	増減▼4
合計	5689	5605	200	4月35人 5月89人

1月1日付人員比 マイナス 83人



控訴断念を訴えるデモ行進をする葛飾の仲間

泉南アスベスト訴訟 勝訴するも、国は控訴断念せず

5月20日(木)と26日(水)に泉南アスベスト訴訟の支援集会が行われました。これは、5月19日に、石綿では初めて国に対する責任を認められた判決に対して、「控訴せずに原告、被害者の救済を急げ」の訴えをする要請行動となり、控訴期限の6月2日まで厚労省前などで座り込みを行いました。

葛飾支部からは、20日に18人、26日には9人が参加し、要請行動を行いました。この判決は、現在行われている首都圏建設アスベスト訴訟にも大きな影響がでることが予想され、同訴訟団への大きな励みになりました。

しかしながら、政府は、一時は、控訴断念を検討していましたが、6月1日この判決を不服とし、控訴をしました。

寅さん 普天間基地の米国の海兵隊等の問題、5月末までの解決も先送りになり、関係の中でも違う動きがあったり、いつになることか；早期閉鎖、返還を求める沖繩の集会には9万人の人が集まった。

その時に、高校生の代表が訴えた「基地や訓練が何のためにあるのか忘れた日常。；沖繩の中に基地があること、この問題をしかたがないからと考えるのをやめていないか。」

今、国民一人ひとりが基地の問題を考えることが求められています。

現首相は「基地は日本を守る抑止力」との立場を崩さない。

ベトナム戦争・イラク戦争そしてアフガン戦争でも人殺しの訓練を受けた海兵隊は沖繩から出撃しているのが現実で、米国の軍隊を支えているのは貧困だといえます。

イラク戦争やアフガン戦争では、5000人が死亡、数万人が負傷をおり、30万人が心を病んで母国の米国に戻っている。

そこで兵士たちは仕事にもつけない、ホームレスになる。米国のホームレスの3人に1人は元兵士といわれている状況にも関わらず、なぜ戦争をしているのかよく解からない；奇奇怪怪です。

戦争の目的はなにか。なぜ戦争を続けるのか。；もう一度「しかたがない」と考えるのをやめて、考えなければ沖繩の高校生から学ぶ今日この頃だったりします。

第81回中央メーデー 変化をチャンスに!! 3万2千人が参加

『文句の叫び』がコンクールで優秀賞を獲得

代々木公園から明治公園までデモ行進しました



青年部が作ったデコレーションの前で記念撮影



デコ製作中の阿久津青年部長



5月1日(土) 天気にも恵まれ、晴れ渡ったこの日、毎年恒例の中央メーデー(第81回)を代々木公園で開催しました。

当日の全体の参加者は3万2千人、東京土建からは、3300人。葛飾支部からは、241人が参加しました。

集会では、『変化をチャンスに!』と題し、政治の変化を私たちの要求実現へのチャンスにつなげようと、4つの意義を取り組むことを確認しました。

①貧困と格差の解消。大企業は内部留保を労働者・国民へ還元せよ。すべての労働者に賃上げと安定した雇用の確保、内需拡大を。

②庶民増税、消費税引き上げ反対、安心できる社会保障制度の充実。「政治とカネ」問題の真相究明、企業・団体献金の全面禁止。国政・地方政治の転換で国民本位の政治実現を。

③核兵器のない世界の実現を。ストップ!海外で戦争する国づくり。許すな憲法改悪。普天間基地の即時無条件撤去、米軍基地の再編・強化反対。

④食の安全・安心と食糧自給率の向上を。ストップ!地球温暖化。

2度目の入賞果たす

集会後の明治公園までのデモ行進では、青年部が苦心しながら作り上げた『文句の叫び(デコレーション)』がコンクールでみごと優秀賞を獲得し、一昨年に続き2度目の入賞を果たしました。

建設国保組合の育成・強化を求める要請書

もう書きましたか? 今月中に提出を

6月にお配りした『国民医療の拡充と建設国保組合の育成・強化を求める要請書』が皆さんのお手元に届いています。まだ、署名を終わっていない方は、署名をし、所属の分会役員へ提出してください。

土建国保を守ろう

現在、医療保険制度の一元化に向けた動き。土建国保の存続にかかわる問題があるのをご存じでしょうか。この動きにSTOPをかけるべく皆さんに署名を配布し、ご協力をお願いします。

新築の着工は低水準、賃金も減少というのが現状です。そんな中、建設産業に従事する皆さんのいのちを守る土建国保は、長い歴史の中で安心して医療にかかれるようにと勝ち取ってきたものです。

国会議員へ提出

この皆さんの署名は、7月に地元国会議員に提出します。みなさん一人ひとりの署名が力となります。

亀有・立石・金町駅頭で行動

安心の医療の実現を訴える

亀有駅頭で62筆の署名集まる

5月18日(火) 後期高齢者医療制度の廃止を訴えて、亀有・立石・金町の駅頭で「後期高齢者医療制度は今すぐ廃止、安心の医療実現をめざす葛飾の会」による、宣伝行動を行いました。(亀有駅では、東京土建葛飾支部をはじめ、5団体24人の参加)

関心の高さ

うかがえる宣伝に

亀有駅での宣伝行動では、やはり、身近な問題とあって、足を止めて話を聞く人・ティッシュとビラを受け取り、賛同署名をしてくれる人など関心を持つ駅利用者が多く、チラシ1000枚が1時間足らずでなくなりました。署名も62人の方から頂くことができました。



亀有駅頭で署名をもらう元井書記長

葛飾区民集会

- 日時：6月23日(水) 夜6時30分
 - 場所：シンフォニーヒルズのアイリスホール
 - 参加：分会4%
- ※1時間集会ののち、葛飾区内をデモ行進します。



『いのちの山河』上映 葛飾支部からは222人

亀有リリオホールで上映
無医村

豪雪・多病・貧困
【お花茶屋・教宣・笹原恵子】昭和20年後半、岩手県沢内村での豪雪・多病・貧困との闘いの話です。馬ソリの鈴の音、かんじき、角巻（今でいうストリール）。雪国育ちの私にとつて懐かしい物です。が、豪雪なんて、こんなものじゃないと力んでしまいました。無医村

の大変さを痛感していた父に医者になることを切望されていたが、法科に進み（実は村の育英資金で医学部に入るも、法科に替わり物議に）。後に村長となった深澤さんが周りの人達、そして村民と共に苦境から脱却を目指す実話です。

初めて医者にかかるのが死後の検視の時、等悲惨なものでした。冬、身も心も雪に閉ざされる村に道を通し、乳児死亡率0を始め、65歳（後に60歳）以上医療費無料化。人間ドック健診、全村民の健康管理等国保料の未納と赤字に苦しんでいた国保を

その後の本丸がどうなったのか気になったので、上映を企画したのであるう人に聞いたところ、「沢内村奮戦記」に書いてあるという。1600円出して、本を買って読めというのかと腹立たしく思いながらも、監督のサインをもらい購入。4～5日は横目で眺めていたが、意を決して読んでみると映画の奥が見えて、とてもおもしろい。

鳩山さん観て
鳩山さん始め、長妻さんたちにもぜひとも見て、そして読んでほしい作品だと思えました。



PAL 東部ブロック第交流会で楽しみました

東部ブロックPALの会

潮干狩り&マザー牧場で楽しむ

葛飾から62人が参加

【PAL葛飾・後継者対策部発】5月16日の五月晴れの日曜日。東部ブロックPALの会（足立・荒川・葛飾・文京・台東）が主催し、葛飾支部後継者対策部が協賛し、「野丁場従事者の交流」を目的に、「第1回潮干狩り&マザー牧場」のレクレーションを全体240人（うち葛飾62人）の参加でおこないました。

盛りだくさんの内容

満足の楽しい一日

葛飾支部は62人に参加。大人も子供も、潮干狩りにわくわく、ドキドキ!?アサリはたくさん採れたかな?マザー牧場ではバーベキューでおなかイッパイ。と盛りだくさんの内容。組合員の交流と家族の交流ができて、満足の楽しい一日となりました。

野丁場従事者の交流をはかる

PALは、野丁場（ゼネコ現場など）に従事する組合

松山新部長 奮闘する

自動車・火災の促進月間

支部目標を見事達成

3月から取り組んできた自動車共済の見積り・火災共済の加入促進の月間が終了しました。自動車共済の見積りは、5件超過で達成。火災共済は口数で超過達成と、拡大月間・住宅デーの準備と忙しい中の運動でありました

が、見事達成となりました。そんな中でも自動車・火災と両方を達成した青戸分会を始め、各分会が奮闘をし、支部目標を達成しました。（別表参照）

支部大会で、新常任として厚生文化部を受け持った松山

部長。「月間中に、本部からのFAXで支部目標未達成の連絡がありました。なんとか達成をしようと分会からまずと思ひ、分会の中で話し合いをし、取り組みをし、頑張っていました。結果、この月間は、厚生文

	火災共済			自動車共済	
	加入目標 (3~5月)	加入件数 (3~5月)	加入口数 (3~5月)	見積り目標 (3~5月)	見積り数 (3~5月)
新小岩	3	1	166口	5	1
西新小岩	3	1	392口	5	5 ☆
東新小岩	3	1	50口	5	2
奥戸	3			5	
本田	3			5	6 ☆
立石	3		430口	5	1
青戸	3	4 ☆	900口	5	5 ☆
お花茶屋	3			5	5 ☆
堀切	3	1	200口	5	1
二葉	3			5	5 ☆
西亀有①	3			5	
西亀有②	3	1	350口	5	
亀有	3			5	1
細田	3		98口	5	6 ☆
高砂	3	1	50口	5	5 ☆
柴又	3			5	2
新宿	3		250口	5	
金町	3	3 ☆	350口	5	5 ☆
東金町	3			5	
東水元	3	2	812口	5	
北水元	3	1	300口	5	6 ☆
幸田	3	1	100口	5	5 ☆
飯塚	3			5	
その他	3			5	1
合計	72件	17件	4448口 ☆	120件	62件 ☆
火災共済 支部目標件数	57件			自動車共済 支部目標	57件
支部目標口数	2850口				

資格申請制度知ってますか？

新たに葛飾支部独自の制度始まる

後継者対策部・青年部・共済の制度

葛飾支部 資格取得補助申請書

2010年4月より

私は、下記資格を取得することができました。資格取得にかかった受験料の補助申請をします。

資格名称	201 年 月 日
資格取得日	

※付書添付…資格証などのコピー1部

申請日	201 年 月 日
所属分会	分会 群
氏名・年齢	(歳)
住所	
連絡先・携帯番号	

※給付対象資格…労働安全衛生法による技能講習に基づく資格科目を基本とし、建築士・施工管理技士も対象とする。

給付の流れ	支部受付	認定	給付(分会)	給付(個人)
	毎月25日	毎月1日	毎月15日	本人

給付金額 1資格 2000円 (ただし、受験料を超えない金額)
※20代青年部員は、「本部青年部補助制度」の併給あり
※1-2級建築士、木造建築士、1-2級施工管理技士
合格者については、「本部資格取得税金」制度もあります。

受付日	処理日	審査	給付	受理
●				

葛飾支部独自の制度 (資格取得補助申請書)

建築確認不況に始まり、08年11月のリーマンショックを発端に、建設業界は未曾有の不況に見舞われています。仕事が極端に減り、単価は切り下げられています。そこで、葛飾支部後継者対策部は、若い世代、子育て世代を応援する一環として、資格取得補助制度の創設を、第57回支部定期大会にて決定しました。

申請内容

○補助金額：1資格に対して2千円

資格・年齢によって色んな申請制度あり

20代青年部員は、本部の制度の「資格チャレンジ助成金」もあわせて申請できます。また、共済の制度の「資格取得祝金」制度の申請ともあわせて利用できます。※詳細は、支部事務所まで連絡ください。

色んな申請制度あり

2千円
○給付対象資格：労働安全衛生法による技能講習に基づく資格科目を基本とし、建築士、施工管理技士も対象
○申請期限：資格取得より1年以内
○申請開始日：10年4月1日以降に取得・合格
○資格・年齢によって色んな申請制度あり



最後の仕上げ（作品に焦げ目・ニスを）にも行列が

新小岩地域ふれあいまつりに参加

好評につき やっぱり材料が不足

5月3日(月・祝)新小岩公園で、4月25日のかつしかり子どもまつりに続き、第21回新小岩地域ふれあいまつりにワークショップコーナーで参加しました。ゴールデンウィークの真ん中ではありましたが、近隣住民の来場者も多く、公園全体が来場者でいっぱいになりました。

このまつりの担当分会は、新小岩お花茶屋分會。8分會の41人が代表で参加し、子どもたちに工作の指導をしました。銅板表札100個・本立て150個・プラントー150個の材料が次々と出てしまい、昼休憩後の午後の部開始の時には、受付に親子連れの長蛇の列。あつという間に残りの材料もなくなり、午後2時には終了となりました。毎年恒例の行事ではありますが、参加された皆さんお疲れさまでした。



お昼休み後、再開時にはいつも行列

**支部健診は支部事務所
保険証と受診券忘れずに**

7月4・11日(両日とも日曜日)は、10年度の第1回支部健康診査です。場所は、葛飾支部会館で開催します。

○4日：第1・3ブロック (新小岩お亀有分會)

○11日：第4・6ブロック (細田お飯塚分會)

申込みは終わっています。申込みをされた方は、当日保険証と受診券が必要です。忘れずにお持ちください。受診券を紛失された場合は、再発行の手続きが必要になりますので、支部事務所でお手続きください。節目健診対象者の方は、保険証と一緒に配付した受診券に「節目健診(人間ドック)」と記載されています。指定機関で補助を受けることができます。詳しくは支部へご連絡ください。

「佐原&潮来」水郷の旅

「嫁入り舟」に感激...

主婦の会日帰りバスハイクに88人が参加



潮来花嫁さんは舟でゆく〜を見てきました

【主婦の会・教宣・大山艶子】5月30日(日)主婦の会の88人がバス2台で「日帰りバスハイク」＝緑眩しい「佐原&潮来」水郷の旅に行ってきました。

アヤマは少し時期には早めでしたが、好天に恵まれ利根川下流を舟で両脇に植えられたアヤマやカキツバタを眺め、民家を結ぶために架けられた「十二橋めぐり」

第18回かつしが土建まつり開催

日時：7月25日(日)

場所：青戸平和公園

企画：分会売店コーナーや、工作教室

いろいろな取り組みで来場者が楽しめる企画盛りだくさん。ただ今、企画準備中です。家族ぐるみ・ご近所さそって参加しよう。

葛飾の マメ知識

立石の地名

立石の地名は、この地に「立石様」は道しるべ

立石の地名の由来の立石様

「立石様」と称する奇石から起こった地名で、すでに室町時代の古文書にその地名が記載されています。古代において官道脇に道しるべとして石を設置することがあり、その所を「立石」と呼びます。「立石様」は古墳時代に遠く千葉県の鋸山付近から古墳の石室を造る石材として運搬してきたもので、奈良時代以降になって墨田から小岩に抜ける古代東海道の道しるべとして転用されたものと考えられています。「立石様」は江戸時代には地上60センチ以上も露出していたと言われ、住民の信仰の対象になっていました。現在では、わずかに数センチほど露出しているにすぎない状態です。

青戸の地名

青戸には、鎌倉時代に名判官として知られた青砥左衛門尉藤綱が居住していた館跡があったとする伝承があり、「青砥」が本来の表記と考えられています。奥州平泉の古尊寺から伝わる鎌倉時代の古文書には、この地を本拠とした「青戸二郎重茂」なる武士の名が記されていることからわかるように、古くは「青戸」と表記していました。「戸」は本来「津」であり「港津」をあらわし、対岸へ渡河することもできる水上交通の要所につく地名です。「青戸」は、室町時代には葛西(葛飾・江戸川・墨田・江東区)と呼ばれる領域の政治・経済の中心地として「亀有」とともにさかえ、戦国期には葛西城が築かれました。

今では京成電鉄の駅名が「青砥」、住居表示は「青戸」が使われています。